

光市記者発表資料

令和元年5月29日

件名 平成30年度ふるさと光応援寄附金（ふるさと納税）の実績について

内容

本市では、平成20年7月に「ふるさと光応援寄附金（ふるさと納税）」制度を創設し、ふるさと光市を応援したいという思いを寄附金という形でお受けしています。とりわけ、昨年7月の豪雨災害に際しましては、184件3,955,060円のご寄附をいただき、道路や河川などの復旧に活用させていただきました。その他、平成30年度の寄附金額や活用内容については下記のとおりです。

記

- 寄附件数 1,271件（平成29年度：641件）
- 寄附金額 22,681,060円（平成29年度：20,797,000円）

寄附金額と活用内容

希望用途	寄附件数	寄附金額	活用内容
「おっばい都市宣言」の理念を踏まえた少子化対策に関する事業	526件	8,445,000円	乳幼児・子ども医療費助成、子ども家庭総合支援拠点の整備、公立小学校における英語教育の充実、コミュニティ・スクールの推進 など
「自然敬愛都市宣言」の理念を踏まえた環境保全活動に関する事業	145件	2,890,000円	LEDなどの省エネ生活普及促進、自然海岸の清掃活動、海岸松林の保全・育成、不用品の再資源化推進 など
「安全・安心都市宣言」の理念を踏まえた安全で安心して生活できるまちづくりに関する事業	144件	2,220,000円	自主防災組織の育成支援、ハザードマップの整備、海岸高潮対策の推進、LED防犯灯管理、交通安全施設整備の推進 など
平成30年7月豪雨災害支援	184件	3,955,060円	平成30年7月豪雨災害で被災した道路、河川、農業用施設の災害復旧
市長が必要と認める事業	272件	5,171,000円	小・中学校施設整備（トイレ改修等）、地域公共交通ネットワークの構築、中小企業等に対する金融支援、光駅周辺拠点構想の策定 など
合計	1,271件	22,681,060円	

お寄せいただいたメッセージの一部をご紹介します

- ・私の故郷をいつも思っています。被害に遭われた方々、一日も早い復興を祈っております。
- ・災害にめげず早く平常な日常生活を取り戻してください。
- ・いつまでも変わらない美しい自然環境の中、人々の暮らしが光続けますように。
- ・子どもたちのために有効活用してください。
- ・帰省のたび、虹ヶ浜や室積海岸の松並木を見て、心癒されています。維持は大変かと思いますが、少しでも役立ててくだされば幸いです。

【問合せ】

光市政策企画部広報・シティプロモーション推進室
担当：松浦 佑子 TEL：(0833)72-1409